

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		感覚運動遊びを設置した広いルームと個室での机上作業など、活動に合わせて適切に部屋を使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		利用児の人数に合わせて配置している。また、加配対応となる利用児が来所の場合はプラスで職員を配置し、安全面の確保や支援の質を保っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		施設内外においてバリアフリー環境整備をしている。イラストや文字での表示をして利用児にわかりやすく提示している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		感染対策の観点からも日々除菌や換気を徹底し、運動部屋、学習室、静養室を分けて、静と動を分けた環境を設定している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		課題の抽出→目標設定→達成・未達成の振り返り→目標の再設定の立案という流れで、チームで実施している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年、保護者からの評価を真摯に受け止め、社内で共有し、業務改善に反映しながら努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者からのご意見を真摯に受け止め、情報の公開と改善に努めている。毎月1回事業所通信を作成し子どもたちの活動の姿を伝えている。またホームページ等で情報を公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		顧問医師による助言、相談体制を構築し現場での支援に生かしている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎年、春～夏時期にかけて週1度職員研修を実施している。また、外部の研修を受けた職員は、研修報告書を提出し職員間で共有を図っている。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメント表をもとに、子ども一人ひとりに合わせて個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		感覚特性や発達検査の専門のアセスメント表を用いて、子どもの特性の分析や個別支援へと生かしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		支援計画の中では、発達支援（運動面、コミュニケーション面）、家族支援や関係機関との連携など、優先順位を明記しながら具体的な支援内容や担当職員、期間等も含めて立案している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		子どもに関わる指導員が多職種でチームとなり、支援計画を作成している。

支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	活動プログラムの実施に関わる職員で相談し、他事業所の職員へも助言を求めながら作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	プログラム内容はお子さまに合わせて適宜組み合わせ、スモールステップにて達成感を感じられる内容となるよう努めている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○	活動の内容に合わせて、個別療育と集団活動を提供している。計画書へも支援内容を盛り込むようにしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	その日の利用児の確認を行い、内容や役割について確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	支援後にはお子さまの様子について振り返りながら、療育の記録を取り、支援の改善へと活かしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	サービス提供ごとに記録を作成し、継続的な支援と適宜目標の達成度の確認、ステップアップにつなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	定期的に保護者とモニタリングを行い、お子さまの様子について振り返り、発達に合わせた今後の支援へ活かしている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	サービス担当者会議には児童発達管理責任者研修を受けた職員、且つ、直接療育支援へ関わる担当職員が出席し、支援の様子、今後の目標について情報交換をしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	定期健診での気づきの段階から、早期支援が行えるよう自治体の保健師さんなど関係機関と連携しながら支援を進めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	令和6年2月現在、児童発達支援での医療的ケア児の実績はまだないが、放課後等デイサービスでの実績はある為、今後関わる場合は、家族、園、医療、他福祉施設、相談支援事業所と連携して支援を進めていける体制は整備している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	鶴岡協立病院小児科の石川医師、太田医院いちごレディースクリニック・太田医師と顧問医師契約を結び、適宜助言を頂きながら療育へと反映できる体制を整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	利用児の通う園へ出向き、活動の様子や支援内容の共有、今後の目標について話し合う場を設けている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保育園から小学校へのライフステージの変化ができるだけスムーズに行えるよう、支援内容の共有や日常生活の申し送りを行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	鶴岡市には児童発達支援センターの機関がない。多くの利用児を担当している相談支援事業所と連携し、利用児の情報共有に努めている。また、他の児童発達支援事業所との連携は、研修会参加の場で話す機会を作っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	新型コロナウイルスが5類へと感染レベルが下がった後も、様々な感染症が流行し、事業所以外の園の子どもたちと直接に関わる機会が少なかった。今後は方法なども検討しながらインクルーシブなイベントを企画していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	事業所の紹介やサービス提供についての情報などを伝達している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	定期的に保護者の療育見学や面談、医療受診の同行を行い、発達状況の共通理解を意識して支援へあたっている。

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		ペアレントトレーニングの研修会を実施し、支援を行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始前に事業所や契約書類説明の時間を設けて対応している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援計画書案を説明し、保護者より同意を得ている。追加の要望等も加味しながら作成している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		来所時に療育見学しながら話しを聴いたり、定期的に面談の機会を設けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会を開催し、保護者様からの情報収集、保護者様同士での情報共有などを行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		利用児や保護者からの要望は速やかに上司へ報告し、対応及び改善に努めている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月会報を作成し、各教室での日々の様子、催しや出来事などを発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		鍵付きの棚で厳重に保管し、個人情報に関する研修も全職員で研修会を開催し共通理解で把握している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さまそれぞれの特性に合わせてながら配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		挨拶回りをするなどして、弊社の運営や理念について理解していただけるよう努めている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		非常時に職員が統一した行動がとれるよう、マニュアルを作成し、定期的な訓練のもとで対応している。防災や感染症委員会を設置し、教務の改善と日々の業務へと活かしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に利用児を含めた訓練を実施している。避難経路も見やすい場所に掲示し、情報を公開している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用開始時に保護者様や相談支援専門員、園などから情報をいただいた上でサービスを開始して支援に関わっている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		利用開始時にアレルギー等の確認をし、全職員で情報を共有している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所内におけるヒヤリハットには、問題点の現状を踏まえ、改善点まで作成している。当該事業所だけでなく、社内の他事業所でも共有を図り、事故防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年、虐待防止についての外部研修会へ職員が参加している。そこで得た最新情報は全職員で共有を図っている。社内研修も行っており、虐待防止委員会も設置した。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		当事業所の児童発達支援に関しては、身体拘束を必要としている児童はいない。組織的にマニュアル化し利用開始前に保護者様へ説明を行っている。